

様式第3

会 議 録

会 議 名	令和元年度第1回野田市環境審議会
議題及び議題毎の公開または非公開の別	<p>1 副委員長の選任について（公開）</p> <p>2 野田市環境調査報告書（案）について（公開）</p> <p>3 野田市環境基本計画策定に係るアンケート結果について（公開）</p> <p>4 ポイ捨て等調査結果について（公開）</p> <p>① ポイ捨て等禁止重点区域（梅郷駅周辺）のポイ捨て等調査結果</p> <p>② 重点区域（梅郷駅周辺）以外のポイ捨て等調査結果</p>
日 時	令和2年2月19日（水） 午後1時30分から午後3時30分まで
場 所	野田市役所高層棟5階 511・512会議室
出席委員氏名	<p>委員長 菊池喜昭</p> <p>副委員長 香西陽一郎</p> <p>委員 五百川和家恵 鍛冶利幸 上口清彦 舘岡誠 添野博 竹澤浩美 山中啓司</p>
欠席委員氏名	浅野幸男 金本秀之 島田ゆかり 関根理恵 横山幸男
事 務 局	柏倉環境部長、関根環境保全課長、小沼清掃計画課課長、岡安清掃管理課長、濱田環境保全課長補佐兼公害対策係長、小島環境保全課環境保全係長、佐藤環境保全課主任主事、生嶋企画財政部次長兼企画調整課長、松本営繕課長、平野農政課長、中村みどりと水のまちづくり課長、皆川下水道課長、渡邊都市部次長兼都市計画課長、松田都市計画課建築指導担当主幹、川野生涯学習課長
傍 聴 者	無し
議 事	令和元年度第1回野田市環境審議会の会議結果（概要）は、次のとおりである。（なお、本文中の事務局の説明及び事前質問の回答については、会議資料を参照）

議題1

副委員長の選任について

香西委員選任

議題2

野田市環境調査報告書（案）について

関根環境保全課長

<野田市環境調査報告書（案）についての説明>

菊池委員長

ありがとうございました。

ただ今、野田市環境調査報告書（案）についての説明がありました。

今回の会議においては、会議資料をお配りさせていただいた際に、事前質問をお願いしております。議案第2号に対する事前質問について、上口委員から質問を頂いておりますので、上口委員から御説明をお願いします。

上口委員

<事前質問に対する説明>

皆川下水道課長

<事前質問に対する回答>

菊池委員長

ただ今の御説明について、何か御質問ありますか。

上口委員

確認の意味で御質問させていただきます。下水道接続については、下水道地域と、その接続可能なところを含めて100として67%ということと理解していいですか。

皆川下水道課長

67%といいますのは、人口ベースで出しております。こちらに関しましては野田市の総人口、約154,000人から、下水道につなげられる区域の人口数を出して、計算して

います。総人口なので、実際下水道接続に計画していない区域の人も入っているかたちになっております。

山中委員

関連で質問です。実際の接続率はどれくらいになりますか。供用開始ができて、そこに接続できる世帯数の中で、接続率はどれくらいか。

皆川下水道課長

資料の6ページ表3-7下水道年度別整備状況にあるように、平成30年度の水洗化率は、93.79%になっております。

菊池委員長

下水道の関係でいつも御質問がありますが、今はこのスタイルで来年度もやることになると思いますが、次回の計画の中でどう変わるのかは、市の方で考えいただくということで良いか。

先ほどの事前質問の中で「建築確認による（新築・建売を含めて）合併処理浄化槽の法定点検（7条、11条）・保守点検・清掃の指導状況」関係の御回答をお願いします。

松田都市計画課建築指導担当主幹

<事前質問に対する回答>

菊池委員長

ありがとうございました。その件について、御理解いただいたということによろしいですか。

では続いて、添野委員から、事前に御質問を頂いておりますので、御説明をお願いします。

添野委員

<事前質問に対する説明>

関根環境保全課長

<事前質問に対する回答>

川野生涯学習課長

＜事前質問に対する回答＞

菊池委員長

事前に頂いた御質問については以上ですが、御質問はありますか。

山中委員

私は、「野田自然保護連合会」の推薦できております。資料2ページの表3-2の真ん中の1-2で自然保護団体数が、プラス1となっていますがこれはどういう団体が指定されたのかお答えいただきたい。

中村みどりと水のまちづくり課長

4団体の内訳ですが、三ツ堀里山自然園を育てる会、みどりのふるさとづくり実行委員会、野田市こうのとりのボランティアの会、追加分が、利根運河を守る会といわれているところです。以上です。

山中委員

ありがとうございました。

菊池委員長

ありがとうございました。ほかに御意見はありますか。それでは、私の方から一つ確認させていただきます。資料の56ページに「野田市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」を平成30年6月に制定し、平成30年10月1日から施行しているとなっていますが、このことにより、何か変化はありましたか。

小島環境保全課環境保全係長

条例改正に伴い、3,000㎡以上のものも県の適用の除外を受け、全て野田市で許可を取るという形になりましたが、事業者からの申請数の増減は特段ありません。それまでは、この3,000㎡未満になるように、あえて事業区域を狭くして申請というケースも数件みられましたが、全て野田市で許可を受けるということで、事業場全体を埋め立てるようになり、中途半端に段差のつくような事業区域が減ったという印象がありま

す。

菊池委員長

どうもありがとうございました。

同じ資料56ページの「表11-7県条例の許可に係る市への意見照会件数」の平成30年が件数・面積共にゼロになっているのは、条例が改正されたことが原因ということではないのか。

小島環境保全係長

これは、県を経由した意見照会がなかったということです。

菊池委員長

どうもありがとうございました。

上口委員

資料5ページの「表3-5地球環境保全への貢献に係る環境指標等の達成状況」で、エコアクション21登録事業者数とあるが、ISOについては、何の記載もありません。野田市ではISOを取っている事業者はないということなのか。

関根環境保全課長

ISOの取得状況についての御質問ですが、こちらの方は把握していないので、後日確認して御連絡します。

上口委員

ただし環境ということで、14001に限ってということになるかと思うので、それも考慮してください。

香西副委員長

キッコーマンについてはISO14001を取得しています。今は、キッコーマングループ全社で一括で取っており、ロケーションごとに証書をもっていますが、企業に問を取る際は、あなたの事業所ではISOを取られているかと聞けば、イエス・ノーで答えやすいと思います。本社で取っているのですが、このロケーションの範囲で、それもカウントできると思うので、もし聞かれる場合には、そういうふうに聞いてあげ

れば答えやすいのかなと思います。

菊池委員長

どうもありがとうございました。

ほかは、いかがでしょうか。

上口委員

資料の4ページ、ごみの減量化についての記載で、これは特にうたっていないのであえて私の方で質問させていただきます。今、野田市は、ごみ袋を配布しています。市町村によっては、独自に買わなければいけない。私は、ごみが増えている原因はごみ袋を配るからであり、買うようにすれば減るという認識を持っています。私は、東金市に5年間単身赴任していましたが、ごみは非常に少ないです。なぜかというところと全て購入するからです。無償で配るから、たくさん使ってしまうのでは。

また、生ごみの出し方でも、水分を絞って出せば大変な減量化になります。中には、野菜くずを乾かしてから捨てている方もいます。

反発は大きいと思いますが、配布はいかがなものかと考えます。今後検討していただきたいと思います。

小沼清掃計画課課長

貴重な御意見を頂きましてありがとうございます。もともと無料配布は一定量まで、そういう区切りをつけることで、ごみの減量効果を狙って市で行ってきた施策です。その枚数を何枚にするか、ということも含めて審議会の方で議論をしていただいております。

また、生ごみも絞れば当然水切りができ、その分重さも減るのでごみの減量化につながっていきます。毎年、ごみの出し方・資源の出し方という冊子をお配りしていますがその中でも改めて周知するとともに、様々な機会をとらえて周知していきたいと思っています。

上口委員

追加です。私の家は、ごみ袋はほとんど余ってしまいます。余ったことに対するインセンティブがなくなってしまったので、再考することも必要ではと思います。非常に余りますので是非御検討ください。以上です。

菊池委員長

はい、よろしいですか。

この、ごみの排出量の問題は、今のところクリアできない数字だと私は思いますが、施策等是非考えていただきたい。

どうもありがとうございます。ほかにありますか。

山中委員

資料の地球温暖化防止関係で二酸化炭素の排出量が、ごみの減量化等で減ったということで最終的に2634.1トンの減少となっていますが、中を見ると小中学校のエアコンの関係で少し増加しています。小学校のエアコンが不要というわけではなく、これは必要だと思うので。今後継続的にこのような形で多少の増減はあるとしても、電気の使用に伴う熱量は増えていくと思われます。今、いろいろな問題があると思いますが、自然エネルギー的なものにこういった増えた分を保管していくという考えはいかがか。恐らく将来的に学校のエアコン使用に伴う電力使用量は基本的に減らないと思います。夏の気温上昇を考慮するとこの分は減らすことができません。今、廃棄物の焼却で大分努力しているので、減らすことができたとしても、野田市のごみ袋の話も出ましたが、最終的には「ごみゼロ」といってもゼロにはならないと思います。どうしても、出るものは出ます。東葛地域で1人あたりどれくらいの排出量になっているのか分かりませんが、いずれにしても電力の使用に伴う排出量の増えた分を今後どう取り扱っていくかというのは、御検討された方がよろしいかと思います。これは質問というより私の意見です。

菊池委員長

どうもありがとうございました。

何かありますか。

関根環境保全課長

貴重な御意見をありがとうございました。今後、野田市としても検討していきたいと思ひます。

香西副委員長

私の方も意見です。先ほどの山中委員と類似したお話になります。

平成27年度から30年度で微減となっていますが、これは廃棄物のエネルギー使

用量が減ったが学校のエアコンが増えたということ。資料の8ページのまとめの部分に、そのことが記載されています。当然、熱中症などは回避すべきであり、エアコンを使うとか暑い日に何度以上の温度設定にするなどということは全くナンセンスです。必要な人たちに必要なサービスをするのは当然ですが、資料の表記として、「さらなる削減は厳しいものとは思われるが引き続き、節電等による温室効果ガス削減に取り組む」となっています。今、世の中の的には低炭素から脱炭素といわれているわけで、1.5度以上上げてはいけない、半分削減するなどということが世界的な潮流としてあります。難しいものもあるけれども、いろいろな技術や、山中委員がおっしゃったようなものも含めた再生エネルギーの検討、高効率の設備の更新、重油から都市ガスへの切替え、いろいろな種類の対策を検討して長期的に講じていくといったような未来志向の表現にされた方がいいと思います。今のままでは、無理かもしれないが少し成果があるというような感じでトーンが抑えられすぎているのではないのでしょうか。難しいかもしれませんが、これは、次の世代への我々全員の課題です。大変でしょうけれども、気持ちとしてはやれることを探してやっていくということを表示していただくといいと思います。

柏倉環境部長

貴重な御意見ありがとうございます。先ほどの山中委員等含めまして、私の方からお話させていただきたいと思います。今おっしゃられたとおりに難しい問題で、単独で指示一つでできる問題ではございません。国の動向や民間会社での開発なども視野に入れ、次の基本計画、次回の審議会からいろいろ出させていただきたいと考えております。現在、小泉進次郎環境大臣が、ゼロカーボンシティということを出してしております。これは2050年までに二酸化炭素をゼロにするということで、非常に厳しい数字です。パリ協定に基づいた形で日本でできることということで、市としても単独というわけではなく、関東近辺の近隣市町村と共同で、そういったところの宣言には協力していきますということを出していきたいと考えております。今、香西副委員長からありましたように、今度の計画では、できるものを少しずつ考えていきたいと思っておりますので、前向きな書き方を検討しているところでございます。またそのときに御意見を頂きたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

菊池委員長

はい、どうもありがとうございました。
ほかは、いかがですか。よろしいですか。

それでは、幾つか御指摘がありまして、修正するところもあり、また、最後に香西副委員長の言われたように、前向きな表現も、追加して、変えていただくといいと思います。是非そのような形で御検討いただきたいと思います。

それでは、最終的に、少し修正事項ありますが、この案で了承いただいたということではよろしいでしょうか。

<一同、異議無し>

菊池委員長

はい。どうもありがとうございます。

それでは、データを県から頂けたら、それがここに追加されて4月以降に、最終版をまた皆さんに見ていただいて、それで、確定する、そういう方針でよろしいですか。また、今日は抜粋版ですけれども完成版の全部をもう一度是非御確認を頂きたいと思います。また、きたんのない意見を是非お願いします。大事なところでしたので少し時間を取らせていただきました。

議題3

野田市環境基本計画策定に係るアンケート結果について

関根環境保全課長

<野田市環境基本計画策定に係るアンケート結果についての説明>

菊池委員長

どうもありがとうございました。

本件につきましても、添野委員から事前質問を頂いております。最初に添野委員から質問内容について御紹介をお願いします。

添野委員

<事前質問に対する説明>

関根環境保全課長

<事前質問に対する回答>

添野委員

この環境審議会で作成している資料というものに対して、野田市民に本当の意味でしっかりした認識・理解をもっていただくような方策を今後とっていただきたいと思った次第です。

柏倉環境部長

いろいろ御意見ありがとうございます。

先ほど、課長も答弁させていただいたのですが、環境問題についての興味というのは、今この気候変動の中で、市民の方、事業者の方も非常に関心をお持ちだと考えております。ただし、添野委員のおっしゃるとおり市がこういった環境基本計画を作っており環境調査報告書を出していることを市民が知らないということが一番の問題です。これは、環境問題だけではなくて市の施策全てに言えることです。市長から、周知方法をよく考えるようにと言われます。市民は知らないというようなことがどのような事業でも必ずあり、その都度、我々も工夫しているところです。市民の皆様にお知らせする媒体が少ない中で、市報を中心に、まめメールもカテゴリーを増やしてお伝えできる機会を作っております。そういったものを活用してこういう計画があり、こういうことをやっています、というPRを今後いろいろ考えていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

菊池委員長

はい、どうもありがとうございました。

いろいろな調整をして、なかなかうまくいかないと思いますが、是非、より良い方向で考えていただきたいです。ほかにいかがでしょうか。

上口委員

アンケートの資料の32ページ、「問6 地球温暖化対策への取り組みについて」とありますが、6ページに戻っていただくと、関心のある環境問題についてのアンケート結果の表で、項目の一番目に「気候変動による豪雨など」となっていて3番目にまた「地球温暖化問題」となっています。今後どちらを採用していくのか、分かりにくいです。今は地球変動や地球危機まできています。後でまた質問しますが^{エス・ディー・ジーズ}SDGs ちらに舵^{かじ}がきられています。それとの整合性を今後市役所としてどう扱っていくのでしょうか。先日千葉県に質問をしてきました。県では職員にどのような教育をしてい

るのか、また、一般の市民の方にSDGsと今後について、それぞれに考えていくのか質問をしていますが、まだ回答は得られません。市役所については、とりあえず気候変動でいくのか地球温暖化でいくのかこの辺の回答を頂きたいです。私は、千葉県の地球温暖化防止活動推進員になっていますが、明後日、流山生涯学習センターで地球温暖化の説明会があります。統一性というのは、今後どうしていくのかも含めて、お聞かせいただければと思います。

菊池委員長

はい、いかがでしょうか。

柏倉環境部長

基本的には、地球温暖化対策というのは、全体の取組として出てくる言葉だと思います。その他、対策の中の一つのメニューとして、気候変動による豪雨など原因の一つと考えております。大枠で見た場合には、地球温暖化対策というのが妥当かと考えます。今、御意見を頂きましたので、文言については統一した形の中で整理をさせていただきたいと考えております。

菊池委員長

はい、ありがとうございました。いかがでしょうか。

ちょっと私から、よろしいですか。

一つは、1ページ目のところで、事業所アンケート300社というのは、全事業者たくさんある中から300選んだということですか。

関根環境保全課長

無作為で選定しております。ただ、全体の事業所数が幾つあるかというのは、商工会にも確認したのですが、把握できていないというのが現状でした。分かる範囲の中から無作為で選定しております。

菊池委員長

後ろのアンケートの整理のところで、気になったのですがアンケートに回答した人が、本来の市を構成している比率と違うようなものになっているのではないかと感じました。高齢者の方が、少し多いということや、事業所の方も、回答した事業者数の事業者が、市のイメージとしての構成と合っているのかなどが気になります。質問に

よっては、この事業者だからこう答えた、世代ごとに答えが違うといった可能性があります。全てとは言いませんが、幾つかの間については、チェックをかけてみないと、本当に市民がどう考えているかということが伝わらないのではないのでしょうか。幾つか是非クロスチェックをかけるようにして、どのような人が、どのように答えているかということも含めて検討していただけたらと思います。今日は一時整理ですからこのままだったと思いますが、次の段階では、それをやっていただけるようにお願いします。

関根環境保全課長

アンケートの集計につきましては、業者をお願いしておりますが、そちらの方でどこまでできるか分かりませんが、今、委員長がおっしゃったようなクロスチェックもやらせてみたいと思います。

菊池委員長

是非、お願いします。そのままでは、平板の回答になってしまって面白くなかったりするので、よろしくお願いします。

それでは、ほかはいかがでしょうか。

よろしいですか。このアンケートの結果が、次の方針を立てる、非常に重要な資料だと思いましたので、お話をさせていただきました。是非、これをうまく活用していただきたいと思います。

柏倉部長

今、委員長のお話の中で、やはり一般市民ですと年代によって全然考え方が違います。

また、事業者によって、その職種によっても違うだろうと思われま。このアンケートで申しますと、一般市民につきましては、やはり、60歳代以上が50%以上を占めています。若い人たちがなかなか関心を持っていない、あるいは関心を持ってないわけではなく、忙しいとかほかにも理由があるかもしれませんが、その辺の分析も検討させていただきたいです。事業者についても、やはり多いのは建設業、製造業といったところですので、その辺の分析も併せて考えて計画に反映させていきたいと考えております。

菊池委員長

是非、よろしく申し上げます。ありがとうございました。

それでは、今日は、とりあえずアンケートの報告ということで、このようなデータをベースにして、基本計画を策定されるということです。特にこれ以上の動きがないようでしたらこのまま進めていただきたいと思いますよろしいでしょうか。

<一同、異議無し>

菊池委員長

はい、どうもありがとうございました。

議題4

ポイ捨て等調査結果について

小島環境保全課環境保全係長

<ポイ捨て等調査結果についての説明>

菊池委員長

どうもありがとうございました。

本件につきましても上口委員から事前に御質問を頂いております。

上口委員

<事前質問に対する説明>

小島環境保全課環境保全係長

<事前質問に対する回答>

菊池委員長

ありがとうございました。

続けてどうぞ。

上口委員

<事前質問に対する説明>

小島環境保全課環境保全係長

< 事前質問に対する回答 >

上口委員

資料8 ページに、パトロールを継続すると書いてありますが、パトロールは事前に何時頃行くというような周知はしているのですか。

小島環境保全課環境保全係長

シルバーの委託に関するパトロールですが、仕様書上にあります。行く人は何時から何時というのは分かっておりますが、東口・西口に貼り出したり、掲示したり、そういうものは、一切ございません。

上口委員

これは、教育委員会との問題もあるかもしれませんが、道徳教育が小中学校で導入されていますが、教科としてではなく、指導の一環として扱われています。ですから、非常に曖昧な道徳教育のように思います。我々が子供の頃受けた教育とは違っているようです。まして、タバコを吸う人の道徳教育というのは、一朝一夕でいかないと思います。ですから根本的に何かを変えなければいけません。それともう一つ飛行機でも電車でもどこでも、もう吸えない時代が来ています。吸えない場所が多いので電車を降りたら吸いたくなる、ところが、必要な場所がない。喫煙場所に目立つように看板を立てて、ここで喫煙してください。というのも一つの方法かと思います。御参考になればとお話ししました。

柏倉部長

御意見ありがとうございます。正に上口委員のおっしゃるとおりです。分析もしつかりしなければいけないということです。吸う場所がないから、そこで吸ってしまう、これは、我々ポイ捨ての担当とすると、当然喫煙所を設けて、そこで吸ってもらえば、ポイ捨てが減るのではないかと、これも一つの方法です。一方では、保健衛生の観点から考えますと、そこを通る人の、受動喫煙をどうするのかという問題があります。今、喫煙に関しては、そういう二重のブロックがかかるような状況の中で、喫煙所の撤去ということがございます。パトロールを行っている時間帯はある程度抑制が効いていますが、やはり、他の市町村に確認してもパトロールの期間は減っているが終わ

ったとたんにまた増えるという、いたちごっこのところがございます。正にたばこのポイ捨てや、路上で喫煙すること自体道徳上どうなのか、受動喫煙も含めてそういったことの教育も必要かなと思っております。ただ、教育までできますと、私たち環境の問題を取り扱うものには、広すぎてしまうので、計画やそういったものの中では、表現の仕方にも工夫させていただきたいと考えております。

菊池委員長

はい、ありがとうございます。

よろしいですか。

教育の話は、昨年か、たしか前からそういう話がありましたが、小学生によく教え込むことが、多分一番近道だったりするのではないかと思います。何か、できることを考えていただいて、講演会などでもいいかも知れません。何か、抜本的なものを一つ考えていただけたらと思います。もう一つは、原因の調査は、是非、やられたらいいと思います。大変な調査になるかもしれませんが、でもやはり、どこで何があるということがはっきりわからないと今後、だんだん定着してきたときに、余り変わらなくなってくるという時期が来ると思うのでそうなったときに、次にブレスするためにも、何がどうしてこうなった、というようなことを御検討いただけたらと思います。是非よろしくお願いします。

話は変わりますが、先ほどの事前質問に対する回答の中で、梅郷駅の東口・西口の乗降客数を鉄道としても把握していないという事実にはおどろきました。商店街等もあって、調査していそうですけども、そういうことも余りないのでしょうか。

柏倉部長

それは、場所によるかと思います。駅の東口・西口で整備されていて、両方に商店街等いろいろあるところは調査されているのではないのでしょうか。梅郷駅の場合、東口が後からできていますので、何もなかったところだったということで、多分、前の調査のままになっているのではないかと思います。そのへんも東武の方に確認しながら可能な範囲でやりたいと思います。

上口委員

資料9ページ・10ページ・12ページの、図-2たばこのポイ捨て状況・図-3可燃ゴミのポイ捨て状況・図-4不燃ごみのポイ捨て状況の三つのグラフに「梅郷駅」が入っていないのですが、相対比較がしにくいです。これは是非入れていただくといいと

思いました。

小島環境保全課環境保全係長

9 ページの「図-2たばこのポイ捨て状況」を参考にしますと各駅周辺で年に3回まわっております。職員が毎月毎月まわっている関係で限度がありますので、図の一番左側にあります、川間駅北口に関してはそれぞれの調査日で、これだけ収集できましたという表現になっています。このグラフの中に梅郷駅を入れようとするのでパトロールを月に6回実施しているので、梅郷駅だけで軸の数が極端に増えてしまうことから同じ図に入れるのは厳しいと判断しました。

図2-1では、年間の推移がわかります。調査1回当たりの収集量を平均したものが、表-7これをグラフ化したものが、図2-1になります。これは、調査1回あたりで、平均を出しておりますので、梅郷駅東口・西口は、委託でパトロールした結果、川間駅北口は、年3回市役所職員が調査した結果、これらのパトロール1回当たりの収集量の平均を出したものであるというような形で、グラフは構成されております。

上口委員

あえて、6回全部を入れることはないと思います。3回くらいで絞って入れておけば参考になるのではないのでしょうか。

菊池委員長

例えば、表7と図2-1は関係しているわけですけど、今の御説明にもありましたが、何か比較できるような工夫をして載せるとか、あるいは、少し枠をずらしてもいいから平均値として示す。

もしかしたらこれは、ばらつきがあるということが分からないというのは、一つの意見が根拠だったりするかもしれません。そのようなことが分かるものを、何か工夫して作っていただくということをお願いします。

関根環境保全課長

ただ今御指摘のあった件、平均値を全て載せなくてもいいということであれば、参考値という形になるかもしれませんが、その辺を検討させていただきます。

菊池委員長

どうもありがとうございます。

ほかは、よろしいですか。

この調査結果についても、いろいろな意見がありまして、いろいろ調べなければなりません。どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。それでは、一応この資料については、御了承いただいたということにさせていただきますと思ひます。よろしいでしょうか。

<一同、異議無し>

菊池委員長

はい。どうもありがとうございました。

以上で本日の議題は終了しました。

本日は、貴重な御意見を頂きありがとうございました。次回の会議日程は、決定次第、皆さまに御連絡ということでしたので、どうぞよろしくお願ひします。

では、以上をもちまして、本日の審議会を閉会いたします。長時間にわたり御協力ありがとうございました。

< 15時30分 閉会 >